

平成 25 年度 大学院人文科学府修士課程第 2 期入学試験問題  
( 仏 文 学 )

【1】 つぎのフランス語文を和訳しなさい (2 題とも)。

(1)

(ウェブ公開版では著作権上の問題により、問題文を削除した。問題文は仏文 10 行。)

(2)

(ウェブ公開版では著作権上の問題により、問題文を削除した。問題文は仏文 13 行。)

【Ⅱ】以下の事項から5項目を選び、知るところをそれぞれ200字程度で述べなさい。

1. 武勲詩 (Les chansons de geste)
2. セヴィニエ侯爵夫人 (Marie de Rabutin-Chantal, marquise de SÉVIGNÉ)
3. ラシーヌ (Jean RACINE)
4. 『ペルシャ人の手紙』 (Les Lettres persanes)
5. サント=ブーヴ (Charles Augustin SAINTE-BEUVE)
6. 『居酒屋』 (L'Assommoir)
7. プルースト (Marcel PROUST)
8. 『夜の果てへの旅』 (Voyage au bout de la nuit)

【Ⅲ】つぎの文章をフランス語に翻訳しなさい。

あるドイツの哲学者によれば、音楽はエモーションの言語だという。たしかに音楽は、たとえ歌詞がなくても、私たちの心に直接働きかけて深い感動をあたえるとともに、筆舌しがたい印象をもたらすことがある。しかも、このような音楽の力は普遍的でもありうる。たとえば、クラシック音楽のなかには、時代や文化の違いを超えて、様々な国の人びとに愛されている曲も少なくない。